

講演会「科学技術と日本の未来」ほか

中国・四国地区会議主催学術講演会の開催（報告）

日 時：9月2日（土）14：00～17：00

場 所：高知工科大学講堂

テーマ：「科学技術と日本の未来」

高知工科大学は広々としたキャンパスにハイテクな建物が配され、講堂も600人収容できるという素晴らしい建物でした。講堂は、あっという間に満杯状態となりました。

まず始めに、岡山大学資源生物科学研究所長の武田和義中国・四国地区会議代表幹事、橋本大二郎高知工科大学理事長（高知県知事）よりそれぞれご挨拶がありました。

続いて黒川清日本学術会議会長の「日本の課題」と題するご講演があり、多くの大学生を含む聴衆を前に「1ヶ月の休暇があるなら外国へ行きなさい」という主旨のお話しが印象深かったです。

次の講演者は、第三部会員の坂村健東京大学大学院情報学環教授で、題名は「イノベーション基盤としてのユビキタス・ネットワーク」でした。「イノベーション」（技術改革）と「ユビキタス」（どこでも）は最近よく聞く単語ですが、坂村先生はこれらの言葉を分かりやすく説明しながらご講演されました。産業と生活の基盤整備に大きく貢献されている先生のこれら分野における研究に関するご講演は、大変興味深いものでした。

最後に、岡村甫高知工科大学学長から御自身の大学生時代の経験談を交えながら、高知工科大学は『世界一「人が育つ大学」』を目指していることなどのお話がありました。

会場には、500名を優に超える多くの参加者が集い、盛会裏に終わりました。

【問い合わせ先】

日本学術会議事務局企画課広報係

(Tel:03-3403-1906、p227@scj.go.jp)

シンポジウム「子どもを元気にする環境とは 政策の現状と評価」
の開催（報告）

日 時：9月4日（月）10：00～17：00

場 所：日本学術会議講堂

主 催：日本学術会議

子どもを元気にする環境づくり戦略・政策検討委員会

本シンポジウムは、子どもの活力増進と深く関わる主要な行政領域の政策の現状と課題を評価し、子どもを元気にする環境の在り方について論議を深めることを目的として開催されました。

午前は、石川幹子慶應義塾大学環境情報学部教授（第三部会員）による総合司会の下、冒頭に、委員会委員長の仙田満東京工業大学名誉教授（第三部会員）から開会挨拶及び趣旨説明があり、続いて、黒川清日本学術会議会長から「子どもを元気にする環境とは」として基調講演が行われました。

午後は、まず始めに、委員会の委員から、仙田委員長、秋田喜代美東京大学学院教育学研究科教授（第一部会員）、小林寛道東京大学大学院新領域創成科学研究科客員教授（特任連携会員）、無藤隆白梅学園大学学長（連携会員）、鴨下重彦東京大学名誉教授（連携会員）からそれぞれ「子どもの成育環境としての都市・建築」、「子どもを元気にする環境づくり - 文化的活動のコミュニティ創造へ -」、「子どもの体力低下」、「子どもの成長を助ける三つの場を作り出す」、「小児科医として考える」と題するテーマでの講演が行われました。

続いて、行政の取組について、柴田雅人内閣府政策統括官（共生社会政策担当）、近藤信司文部科学省文部科学審議官、辻哲夫厚生労働省事務次官、鬼頭平三国土交通省技術総括審議官、炭谷茂環境省事務次官、井戸敏三兵庫県知事からそれぞれ「青少年育成施策の現状」、「政策より見た子どもの元気と環境」、「新しい少子化対策について」、「子どもがのびのびと成長できる環境づくりについて - 国土交通省の取り組み -」、「子どもの元気と環境」、「地方行政の現場から～たくましく生きる力を育むために～」と題するテーマでの講演が行われました。

引き続き、ディスカッションとなり、進士五十八東京農業大学地域環境科学部教授（第三部会員）の司会により、委員会委員と行政関係者の中で活発な討論が行われました。

最後に、委員会副委員長の加賀谷淳子日本女子体育大学客員教授（第二部会員）から、閉会の挨拶がありました。

当日は、約 300 名の参加者が集い、盛会裏に終わりました。

【問い合わせ先】

日本学術会議事務局参事官室（審議第二担当）

（Tel:03-3403-1056、s254@scj.go.jp）

日本学術会議ニュースメールは、日本学術会議第 20 期会員・連携会員、日本学術会議協力学術研究団体に配信しています。転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようお取り計らいください。

また、メールアドレスの変更等がありましたら、事務局（p228@scj.go.jp）まで御一報いただければ幸いです。

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34